

生化学解析センター

【教育】	
1. 到達目標	医学部メディカルサイエンス推進研究所の附属研究施設として、医学部内教員・学生の研究を支援する。
2. 現状説明	センター設置機器の使用に不馴れな利用者、新規導入機器利用希望者を対象としたセミナー等を開催し研究の促進を行っている。
3. 点検・評価	機器説明会等を実施しており目標に概ね到達している。
4. 目標・改善方策の達成度	新規導入された機器については利用説明会を実施している。導入済みの機器に関して問い合わせがあった場合に都度説明会を実施している。また希望者については、取扱説明DVDの配布を行っている。
【研究】	
1. 到達目標	受託解析並びに先端機器の利用支援を行うことで、医学部内教員・学生の研究を支援する。
2. 現状説明	受託解析の利用者数とセンター利用者数は昨年と同水準である。
3. 点検・評価	令和4年度は4649人が当センターを利用しており、研究支援については順調に推移している。
4. 目標・改善方策の達成度	研究支援については、概ね目標を達成している。
【社会貢献】	
1. 到達目標	先端研究機器の導入を図り、医学部内教員・学生の研究への支援を行う。
2. 現状説明	受託解析の利用者数とセンター利用者数は昨年と同水準である。
3. 点検・評価	研究支援については順調に推移している。
4. 目標・改善方策の達成度	先端機器の新規導入についてはやや遅れている。関係各方面と協力して機器の新規先端機器の導入並びに既存機器の更新を図り研究支援の高度化を進める。

生化学解析センター

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 Tanouchi M, Igawa T, Suzuki N, Suzuki M, Hossaina N, Ochi H, Ogino H	Optimization of CRISPR/Cas9-mediated gene disruption in <i>Xenopus laevis</i> using a phenotypic image analysis technique	Development, Growth & Differentiation, 2022; 64(4) : 219-225. PMID: 35338712	IF = 3.063, Q2		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Suzuki N, Kanai A, Suzuki Y, Ogino H, Ochi H	Adrenergic receptor signaling induced by Klf15, a regulator of regeneration enhancer, promotes kidney reconstruction.	The Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. 2022; 119(33):e2204338119. PMID: 35939709	IF = 12.779, Q1		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Durant-Vesga J., Suzuki N, Ochi H, Bouffant RL, Eschstruth A, Ogino H, Umbhauer M, Riou J	Retinoic acid control of pax8 during renal specification of <i>Xenopus</i> pronephros involves hox and meis3.	Developmental Biology. 2023; 493; 17-28. PMID: 36279927	IF = 3.148, Q2		B D
1. 論文	(1)原著	査読有 Ono F, Cordeiro IR, Kishida O, Ochi H, Tanaka M	Air-breathing behavior underlies the cell death in limbs of <i>R. pirica</i> tadpoles	Zoological Letters, 2023; 9(1):2. PMID: 36624534	IF = 3.157, Q1		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Tamaki T, Yoshida T, Shibata E, Nishihara H, Ochi H, Kawakami A	Splashed E-box and AP-1 motifs cooperatively drive regeneration response and shape regeneration abilities	Biology Open, 2023; 12(2); bio059810. PMID: 36636913	IF = 2.643, Q3	E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Nishida Y, Yagi H, Ota M, Tanaka A, Sato K, Inoue T, Yamada S, Arakawa N, Ishige T, Kobayashi Y, Arakawa H, Takizawa T	Oxidative stress induces MUC5AC expression through mitochondrial damage-dependent STING signaling in human bronchial epithelial cells	FASEB BioAdvances 2023; 5(4), 171-181. PMID: 37020748	IF = 2.771, Q2		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Ono S., Ogura J., Sugiura H., Yamauchi M., Tanaka A., Sato T., Maekawa M., Yamaguchi H., Mano N.	* Glutathione Depletion Results in S-nitrosylation of Protein Disulfide Isomerase in Neuroblastoma Cells	Life Sciences 2023, (316) 121442 PMID:36708988	IF = 6.78, Q1		B
1. 論文	(2)総説及び解説	査読無 田中敦	ミトコンドリアフェリチンによるマイトファジー駆動 —機能障害ミトコンドリアの駆除と肝細胞における発がん抑制	ミトコンドリア疾患治療の新時代：オルガネラ動態を紐解き異常ミトコンドリアの標的分子を狙う！ 柳茂, 三牧正和／編 2023年3月17日 実験医学増刊Vol.41 No.5 747-752			
1. 論文	(2)総説及び解説	査読無 野村M. 慎一郎, 齋藤明, 田中敦, 小椋利彦	人工細胞をコンテナとして用いる培養細胞操作	”特集 要素から構築する人工細胞とその応用” 細胞 2022年4月号 54(4) 194-197			B
1. 論文	(7)その他	査読無 Michiue M, Zorn AM, Kato T, Ochi H, Hayashi T, Inoue T	Versatile Utilities of Amphibians (part 1)	Development, Growth & Differentiation, 2022, 64(6) ; 264-265. PMID: 36088539	IF = 3.063, Q2		B D
1. 論文	(7)その他	査読無 Michiue M, Zorn AM, Kato T, Ochi H, Hayashi T, Inoue T	Versatile Utilities of Amphibians (part 2)	Development, Growth & Differentiation, 2022; 64(7) ; 346. PMID: 36173152	IF = 3.063, Q2		B D
1. 論文	(7)その他	査読無 Michiue M, Zorn AM, Kato T, Ochi H, Hayashi T, Inoue T	Versatile Utilities of Amphibians (part 3)	Development, Growth & Differentiation, 2022; 64(9) ; 472-473. PMID:36579413	IF = 3.063, Q2		B D
1. 論文	(7)その他	査読無 Ochi H, Michiue T, Kato T, Zorn A, Hayashi T, Inoue T, Kondo M, Taira M	Versatile Utilities of Amphibians (part 4)	Development, Growth & Differentiation, 2023; 65(1) ; 4-5. PMID:36740732	IF = 3.063, Q2		B D
2. 学会報告	(1)国際学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 田中敦	Mitochondrial ferritin functions as a beacon for sensing mitochondrial integrity and cellular iron metabolism	3. Redox Week Sendai 2022 (第12回 国際NO学会学術集会 第22回 日本NO学会学術集会) 2022年10月30日 仙台 (東北大学)			B D

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告 (1)国際学会	iii 一般演題	査読無 Ono F, Cordeiro IR, Kishida O, Ochi H, Tanaka M	Air-breathing behavior allows for the induction of cell death in limbs of amphibians.	19th International Society of Developmental Biology, Portugal; 2022			B
2. 学会報告 (1)国際学会	iii 一般演題	査読無 Suzuki M, Igawa T, Suzuki N, Tazawa I, Nakajima K, Furuno N, Suzuki KT, Ochi H, Kato T, Hayashi T, Ogino H	NBRP Clawed frogs / Newt - Genetic and genomic resources of amphibian model organisms and their applications	13th International Meeting of the Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC 2022), Online; 2022			B
2. 学会報告 (2)国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	荻野肇, 田内幹大, 井川武, 坂口裕介, 鈴木誠, 鈴木菜花, 越智陽城	ツメガエルを用いたオオノログ進化メカニズムの研究	第93回日本動物学会, 東京都; 2022			B
2. 学会報告 (2)国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	田中敦, 築取 いずみ, 原 裕一, 紺野 雄大, 戸由 菜月, 宮野 鉄平, 日野 啓輔, Lemasters John J	ミトコンドリアフェリチンはミトコンドリア完全性を感知するビーコンとして機能する Mitochondrial ferritin function as a beacon for sensing mitochondrial integrity.	第45回日本分子生物学会年会 ワークショップ 2022年12月2日 千葉 (幕張メッセ)			B D
2. 学会報告 (2)国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	田中 敦, 戸由 菜月, 宇佐美 勁, McBride Heidi M	ミトコンドリア由来小胞の形成による鉄代謝情報伝達のプラットフォーム Platform for iron metabolism signaling through the formation of mitochondria-derived vesicles	第45回日本分子生物学会年会 ワークショップ 2022年12月2日 千葉 (幕張メッセ)			B D
2. 学会報告 (2)国内学会	iii 一般演題	査読無 Tada R, Higashidate T, Amano T, Ishikawa S, Nara S, Ishida K, Kawaguchi A, Ochi H, Ogino H, Yakushiji-Kaminatsui N, Sakamoto J, Kamei Y, Tamura K, Yokoyama H	Transgenic Xenopus laevis with a limb-specific shh enhancer, outlines the competence to express shh in regenerating limbs	55th Annual Meeting of the Japanese Society of Developmental Biologists, 石川県; 2022			B
2. 学会報告 (3)国内地方会	iii 一般演題	査読無 小野沙桃実, Ingrid Rosenburg Cordeiro, 岸田治, 越智陽城, 田中幹子	エゾアカガエルの呼吸行動により促される可塑的細胞死	2022年度日本動物学会関東支部大会, 東京; 2022			B
2. 学会報告 (3)国内地方会	iii 一般演題	査読無 鈴木菜花, 荻野肇, 越智陽城	全ゲノム動態解析が解き明かす腎再生におけるアドレナリンレセプターの役割	日本動物学会東北支部大会, 青森県; 2022			B
2. 学会報告 (4)研究会	i 特別講演・招待講演・会長講演	田中敦	ミトコンドリアを中心に観た細胞内鉄動態の解析と疾患研究への応用	レドックスR&D 戦略委員会 2022 年度「夏のシンポジウム」 2022年8月19日 盛岡 (岩手大学)			B D
2. 学会報告 (4)研究会	i 特別講演・招待講演・会長講演	田中敦	ミトコンドリアを中心とした細胞内鉄動態の解析と疾患へのつながり	熊本大学大学院生命科学部研究セミナー 2022年5月25日 熊本 (熊本大学医学部)			B D
2. 学会報告 (4)研究会	iii 一般演題	査読無 鈴木菜花, 荻野肇, 越智陽城	組織再生におけるアドレナリンシグナルの役割	第29回山形分子生物学セミナー, 山形県; 2022			B
2. 学会報告 (4)研究会	iii 一般演題	査読無 戸由菜月, 田中敦	細胞内鉄恒常性維持に寄与する鉄欠乏応答性ミトコンドリア由来小胞の基質解析	第30回山形分子生物学セミナー 2022年11月26日 (飯田キャンパス)			B D
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催		安岡有理, 越智陽城	XCIJ/NBRPツメガエル・イモリ共催 細胞生物学から考えるこれからの研究リソース	第93回日本動物学会, 東京都; 2022			B
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催		塩田拓也, 田中敦	「細菌、ミトコンドリアの表情研究の最前線/ Frontiers of surface research on bacteria and mitochondria」	第45回日本分子生物学会年会 ワークショップ 3PW-10 2022年12月2日 千葉 (幕張メッセ)			B D

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催		Chuang-Rung Chang		YU-COE (C) 細胞内鉄恒常性とミトコンドリア機能・疾患の国際研究拠点(田中敦拠点代表) 研究指導セミナー 2022年11月2日 (飯田キャンパス)			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催		杉浦歩	「ペルオキシソームが織りなす多様な生命基盤」	YU-COE (C) 細胞内鉄恒常性とミトコンドリア機能・疾患の国際研究拠点(田中敦拠点代表) 研究セミナー 2023年2月9日 (飯田キャンパス)			
5. 学会等での受賞		田中敦	令和4年度山形大学医学部功績賞(教育功績)	令和4年度山形大学医学会総会2023年3月1日 (飯田キャンパス)			